

2023年活動報告

2022年11月の第7回総会において、会員都市の意向を踏まえ、従来の固定した分野での部会活動方式を廃止し、各都市が紹介したい案件、連携を希望する案件などを提案し、参加希望の都市間でワーキンググループ的な活動を行えるように改められました。

これを受け、2023年5月に交流促進部会が発足し、オンライン会議を経て、2023年11月30日、対面で初となる部会を北九州市で開催しました。

午前中の会議では、各都市による主要事業の発表のほか、今後の部会活動の方向性等について活発な意見交換がなされました。また、午後には北九州市介護ロボット等導入支援・普及促進センター及び、北九州市に本社を置く地図情報を提供する会社である株式会社ゼンリンの企業博物館「ゼンリンミュージアム」の視察を行いました。

北九州市介護ロボット等導入支援・普及促進センターでは、介護現場におけるテクノロジーを活用した業務改善手法「北九州モデル」についての説明を受けたほか、見守り支援や移乗支援等の機器を実際に体験しました。

ゼンリンミュージアムでは、16世紀から19世紀に作られた西洋製の日本地図や、伊能図と呼ばれる約200年前に作成された地図をはじめとする、国内製の地図の変遷を歴史とともに紹介。また、企画展『くきのうみ～近代産業の中心地 若松・戸畑・八幡～』では、近代産業の要として成長を遂げる重要な要素となった「港」と「鉄」をテーマに、若松・戸畑・八幡地区を中心とした北九州市の歴史を地図から学びました。

2024年の交流促進部会は、中国・大連市で開催される予定です。



▲会議終了後の集合写真（北九州市役所）

▶起立・移乗器具の体験
（北九州市介護ロボット等導入支援・普及促進センター）



▲伊能図の見学（ゼンリンミュージアム）